

# 北風と太陽

香芝市立香芝北中学校通信

NO.2 2023.4.11 文責 上谷基博

## 快晴の中、無事入学式を終えました。

4月10日(月)、第24回入学式を行いました。この日は朝からとても良い天気。8時ぐらいから続々と新生が入ってきます。クラスが書かれた名簿を受け取り、昇降口で上靴に履き替え、3階に上がっていきます。毎年この光景を見ながら新鮮な気持ちになっています。定刻の9時20分、176名の新生がクラスごとに担任の先生の先導で入場してきました。緊張の



面持ちが逆にフレッシュで良かったです。教頭先生の開式の辞の後、国歌斉唱。そして新生氏名点呼。担任の先生が最も緊張する瞬間です。何せ、朝会ったばかりで名前と顔もこれからって状態ですからね。私も覚えがありますが、何回か呼ぶ練習をして臨んでいるものの、間違っわけにはいかないプレッシャーは大きいです。で、呼ばれた新生のみな

さんは「はい！」と返事をします。緊張からか声が小さい人もいましたが、何人かものすごく大きな声で返事をした人がいました。スゴいね。立派やわ。式辞ですが、まずはお礼から。4クラスになる可能性があった中、本校入学を大勢のみなさんが選んでくれてありがとうございます！！

また、学校は「訓練の場」でもあるので厳しいと思うこともあるよって伝えました。キャッチコピーの『笑顔と元気』を紹介し、君達もそれを大事にしながら日々の学校生活を置かってくださいと。PTA会長さんは「中学校3年間での成長はものすごいよ」って伝えてくださいました。



## とても立派な『誓詞』でした！

「新生氏名点呼」同様、入学式のメインである「新生誓詞」。自分のことばで力強く語ってくれました。以下に全文を載せますので、一読してくださいね。

よい春の風に吹かれ、色とりどりの花が咲く今日、私たちは香芝北中学校の入学式を迎えることができました。真新しい制服に身を包み、これからの三年間をどう過ごすかと期待に胸をときめかせています。私たちは小学四年生の直前で一斉休校になり、友達にも会えず、淋しい思いをしました。今まで当たり前のようにできていたことが、当たり前じゃないということをも身を持って経験しました。目の前の友達の顔を見て笑い合えることが、こんなに楽しい事なのかと改めて実感しました。また、一人では難しく思えることも、みんなで協力して取り組みれば、大きなことも成し遂げられるということも、色々な行事を通して学びました。私は、中学校の三年間をやる気と達成感に満ちた日々になりたいと考えます。そのために大切にしたいことを宣言します。まず一つ目は「命」です。小学校の平和学習では、命の尊さを学びました。また、いじめによって命が失われているというニュースも耳にします。目の前の友達が、今日も元気でいてくれると嬉しい。ひとりひとりが、大切な命なんだということを忘れずにいたいと思います。二つ目は「努力」です。努力を続ければ、少しずつ自信もつくし、自分の夢を叶える第一歩になります。小学校の卒業文集には、将来自分がなりたいた姿を書いている人が大勢いました。みんな、自分の夢に向かって努力する力を持っていると思います。他人と比べるのではなく、昨日の自分より一歩でも前へ進めるように、努力する心を忘れないでいようと思います。三つ目は「友達」です。私は小学校で多くの友達や同級生に恵まれました。中学からは新たに志都美小学校からの同級生も増えるので、少し緊張もしますがワクワクしています。友達は不思議な力を持っています。楽しいことはもっと楽しくしてくれるし、大変なことは一緒に乗り越えていけるような存在になります。中学校ではお互いにいい刺激を与えながら、ともに成長できる関係を築きたいです。中学三年間はちょうど1000日ほどです。「千里の道も一歩から」と言うように、中学校では努力と挑戦を忘れずに、何ごとにも積極的に取り組みたいと思います。校長先生や先生方、先輩方、今日はすてきな入学式を開いてくださりありがとうございます。これからどうぞよろしくお願ひ致します。

令和五年四月十日 新入生代表

これで3学年揃いました。いよいよかききたの令和5年度が本格的にスタートします。みんなで力を合わせてより良い学校づくりをして行こうではありませんか。本校はいろんな面で、今よりもっともっと向上させられると信じています。日本一の学校目指して頑張ってください！！

